

日本サーフィン連盟 支部予選等 大会運営 感染症対策チェックリスト

◆開催前

【選手】

- エントリー選手へ問診票配布（メール、SNS など）。
参加予定の選手に問診票を配布、期間中の検温や記入を促す。
- 体調管理。
ウェイティング期間中は毎日の検温に努めてもらう。

【運営】

- 開催地域の状況確認。
開催地域の感染状況を踏まえ、自治体や地域から発出されているルール等を確認。
- 地元医療機関の確認。
開催当日の発熱外来病院を調査。
- 開催場所の支部と連携。
開催場所の行政、医療機関を確認及び支部間での連絡。
- 体調管理。
ウェイティング期間中は毎日の検温に努めてもらう。

◆開催当日

【選手】

- 検温。
本人が当日朝の検温を行い問診票に記入。
- 問診票の提出。
大会当日には指定の問診票を記入の上大会本部に提出。
※体調不良の場合は参加を見合わせチームリーダーに報告。
- マスク着用。
ヒート時以外はマスク着用に努める。
- ソーシャルディスタンスをキープ。
1.5m 以上を確保。15 分以上の会話を避ける。
- 手指消毒。

◆開催当日

【ジャッジ、運営】

検温。

本人が当日朝の検温を行い問診票に記入。

問診票の提出。

大会当日には指定の問診票を記入の上大会本部に提出。

※体調不良の場合は参加を見合わせチームリーダーに報告。

マスク着用。

手指消毒。

非接触型体温計の用意。

ソーシャルディスタンスをキープ。

1.5m 以上を確保。15 分以上の会話、大きな声を避ける。

エントリー確認(問診票提出&検温)。

クラス毎にエントリー確認及び問診票受け取り。

その際、応援や付き添い者が会場内に入る場合、同様に検温を行う。

テントの換気。

筆記具など共用使用を極力避ける。または適宜消毒。

拡声器等の使用時は適宜消毒。

選手、帯同者、観客へ、ソーシャルディスタンス確保の適宜呼びかけ。

インフォメーションボード前の密に注意。

NSA ガイドラインポスターの貼りだし。

会場エリア区画分け(推奨)。

密にならないよう、極力会場のエリア分けをするのが望ましい。

2 次検査テントの設置(推奨)。

体調不良者の隔離等に利用。

【ビーチマーシャル】

検温。

本人が当日朝の検温を行い問診票に記入。

問診票の提出。

大会当日には指定の問診票を記入の上大会本部に提出。

※体調不良の場合は参加を見合わせチームリーダーに報告。

マスク着用。

手指消毒。

ソーシャルディスタンス。

1.5m 以上を確保。15 分以上の会話を避ける。

ゼッケン。

選手に手渡しは極力しない。

使用後のゼッケンは流水で洗う、または洗濯用洗剤と流水の併用など、実現可能な範囲でヒートごとに洗浄を行ってください。意識のためにゼッケンをキレイにすることがメインで、実際の感染伝播はゼッケン等の物品では発生しないと思われま

※選手との接点はビニールシートまたはアクリル板の設置が理想。

テントの換気。

拡声器等の使用時は適宜消毒。

選手との対面を極力避ける。フェイスシールドなどの活用(推奨)。

◆表彰式

式典は行わないか、簡略化が理想。

賞状はファイナル終了後に各選手にアナウンス、本部へ取りに来てもらうなど。

式典も密を避ける工夫。

結果はホームページ、SNS(フェイスブック等)を活用し発表。

◆開催後

開催後 2 週間の経過観察。

開催後 2 週間以内に感染症による体調不良者から連絡を受けた場合、速やかに連携している医療機関に報告。対応を相談する。